

応募申込日：令和 年 月 日

第3回 JAPANコンストラクション国際賞 応募申込書

建設プロジェクト部門

I 応募者概要

1. 会社名	
2. 所在地	〒
3. 連絡先	ご担当者名： 部 署： 電話番号： F A X 番号： e-mail：

II プロジェクトの概要

1. プロジェクト 名称（和文名 及び英文名）	
2. 所在国・都市	国 都市
3. プロジェクト 関係者	発注者：
	設計者：
	施工者：
	（上記の分類に合致しない場合は、以下の空欄を使用して下さい。）
4. 工期	着工： 年 月 完工： 年 月
5. 総事業費	
6. 応募企業担当 部分	
7. 担当部分以外 の部分の関連 企業	（当該部分について応募資料に含める場合のみ記入して下さい。 了解を得た企業の企業名及び担当部署名を記入して下さい。）

8. プロジェクトの諸元(概要説明、規模、工法、構造、開発面積、特徴等)	
--------------------------------------	--

Ⅲ プロジェクトの特徴

1. 質の高いインフラ投資に関するG20原則の原則1～5に沿った「質の高いインフラ」を実現したか。

(参考) 質の高いインフラ投資に関するG20原則 (仮訳)

https://www.mof.go.jp/international_policy/convention/g20/annex2.pdf

○以下に該当する事柄について記載して下さい(各項目について500字以内)。各項目について日本企業がどのように貢献したかについても記述して下さい。該当がない場合は、「該当なし」と記入して下さい(できる限り全ての項目について記載をお願いします)。また、可能な限り仕様書の概要や報道記事、発注者からの評価等、客観的な資料を添付して下さい。

① (原則1)

持続可能な成長や開発の達成のための、インフラによる正のインパクトの最大化

- ・ 経済活動の好循環の実現 (雇用面、技術移転、投資・貿易・経済発展の促進)
- ・ 持続可能な開発や連結性の促進 (持続可能な開発に貢献するインフラ、広汎なアクセス・利用が可能となる包摂的なインフラ、国家的・地域的・グローバルなインフラの連結性の向上、個別の国々の条件に適合、地元の法規制と整合的)

② (原則2)

ライフサイクルコストを考慮した経済性向上

- ・ライフサイクルでのコストとベネフィットの考慮
- ・事業遅延・コストオーバーラン・供用開始後のリスクに係る戦略

③ (原則3)

インフラ投資への環境配慮の統合

- ・ライフサイクル全般での環境配慮
- ・環境への影響に関する透明性の確保

④（原則４）

自然災害及びその他のリスクに対する強靱性の構築

- ・ 堅実な災害リスク管理に配慮

⑤（原則５）

インフラ投資への社会配慮の統合

- ・ 社会において差別を生じさせない方法でのインフラ・サービスへの開放的なアクセスの実現（コミュニティとの協議等）
- ・ ライフサイクルでの包摂性の実践（様々な関係者の人権・ニーズの尊重）
- ・ 労働者への機会提供（雇用へのアクセス、技能向上、安全・健康的な条件下での労働、公平な報償）
- ・ 建設現場・周辺コミュニティの双方で安全面・健康面の条件整備

3. 若年世代の興味・関心を高めるとともに、国際人材の育成に寄与したか。

○以下の点について、詳細な事柄を記載して下さい（500字以内）。

また、可能な限り広報資料や採用活動用資料に活用した例等、客観的な資料を添付して下さい。

① 海外建設プロジェクトへの関心を高めたか。また、若手人材の建設・不動産業に対するイメージアップにつながったか。

--

② 当該プロジェクトが国際人材育成に資するものであったか。その人材が、その後も応募企業の海外事業や関連部署で活躍しているか。

--

4. 戦略性をもって取り組んだか。

○以下の点について、詳細な事柄を記載して下さい（500字以内）。

・マスタープラン等の上流段階からの関与、当該国への戦略的な長期進出による案件の獲得等、長期的・戦略性のある受注や事業の実施であったか。

5. プロジェクトのPRを120字以内でご記入ください。

添付資料

1. プロジェクトの写真を5枚まで、写真についての説明を2～3行で記述して下さい。
2. 上記「Ⅱ プロジェクトの概要」を説明するために必要な図面等がありましたら、添付して下さい。
3. 上記「Ⅲ プロジェクトの特徴」の各項目について、技術的な事項も含め、記述内容を裏付ける客観的かつ簡潔な資料を添付して下さい。